

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年8月29日			
平成15年度	事業コード	21210	電話	042-769-8336
担当部課名	環境事業部	清掃総務	課	
事務事業名	剪定枝資源化事業			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第1章	『ゆとりあるみどり豊かな環境共生都市』をめざして	事業開始年度
基本施策名	第2節	リサイクル社会の構築	14年度
施策名	第1施策	リサイクルシステムの構築とごみの減量化・資源化	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

義務的経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
公共事業から排出される剪定枝について、これまで焼却処分としていたものを破碎処理し、チップ化して資源として循環利用する。	市の管理する公共施設から排出される樹木剪定枝
	対象数 200トン(3か月)
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
剪定枝資源化施設の暫定整備(旧食肉公社建物の一部改修ほか) 資源化業務の委託(15年1月6日から3月31日まで) ・破碎、チップ化作業(破碎機・ベルトコンベア・バックホー・ホイールローダー・トラックスケール・車両は持ち込み) オペレーター1人、作業員2人 ・機械警備の委託 火災、侵入者に対する警備(15年1月6日から3月31日)	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	剪定枝破碎処理(チップ化)率	破碎処理枝量 200t ÷ 剪定枝発生量 200t = 100%	公共施設から排出される剪定枝の破碎処理状況を把握			100	100	100
	チップ資源化率	チップ利用量200t ÷ 破碎処理量200t = 100%	チップが実際に利用された量を把握し、循環型社会への貢献を図る			100	100	100

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	決算(予算)額	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
				20,091	11,107	11,107
	人員・時間数			3人・1日	3人・1日	3人・1日
	人件費			2,380	9,519	9,519
	その他経費			0	0	0
	合計	0	0	22,471	20,626	20,626
	特定財源			0	0	0
	対象数			200	900	900
	対象の単位あたり経費	#DIV/0!	#DIV/0!	112.4	22.9	22.9

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A : 達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B : 一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C : 達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	公共施設から排出される剪定枝については、剪定業務を請け負った業者により全量が破碎処理された。チップについては公園敷地などに敷き材として利用された。
(2)必要性 評価 A ▼	A : 適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B : 一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C : 適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 現在は、公共施設から排出される枝を対象にしているため、市の業務としての必要性はある。
(3)有効性 評価 A ▼	A : 有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B : 一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C : 有効ではない		説明
(4)効率性 評価 A ▼	A : 優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B : 一部改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C : 改善の余地がある		<input checked="" type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 使用する機材を含め委託業務としたことで運営面、コスト面で効果が得られた。
(5)公平性 評価 A ▼	A : 公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B : 一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C : 公平でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明： チップの有効活用については、炭化、ペレット、堆肥化等広く活用用途を研究し、より進んだ資源化が考えられる。	手段	造園共同組合や民間企業、大学研究機関と共同研究を行い、民間ルートでの活用も模索する。
		削減額	未定 千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較 運営方法の検討が必要。 他市の例：委託方式、公設民営方式、民設民営方式
	今後の進め方	
<input type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明 設置及び成果については目標どおり実施できた。今後の課題としては、より効果的な運営方法やチップの活用用途の拡大を検討する必要がある。
<input checked="" type="checkbox"/>	見直し	
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

剪定チップの活用方法を検討すること
